

助産師活用推進事業

令和3年度予算案 83,850 千円 (令和2年度予算額 83,850 千円)

<助産師活用の背景>

- 積極的な助産師活用の場として、院内助産、助産師外来、助産所等が挙げられ、医師との協働のもと、その専門性をさらに活用することで、地域における安全・安心・快適なお産の場を確保するとともに、妊婦の多様なニーズに応えることが期待される。
- 医師の働き方改革の実現に向け、医師以外の職種へのタスクシフティング・タスクシェアリングの推進が求められており、産科医療機関においては、産科医師の負担軽減を目的とした、助産師の積極的な活用の推進が必要。

■ 助産ケア中心の妊娠・出産支援システムのメリット

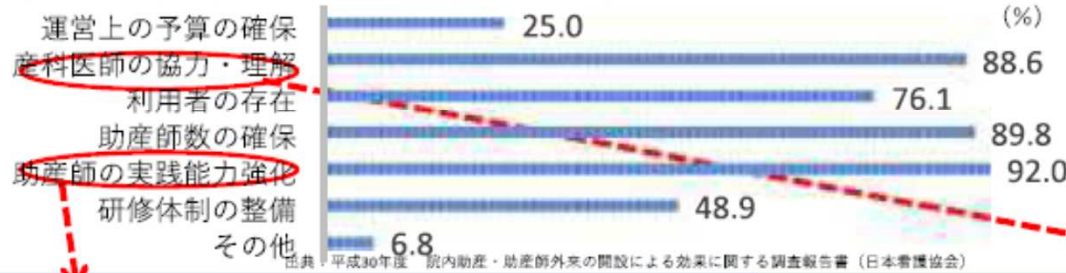
産婦人科診療ガイドラインでは、院内助産システムについてのメリットが示されている。

Low risk妊娠および分娩に対しては、助産ケアを中心とした管理が、予後を損なうことなく妊婦から肯定的(満足度が高い)評価を受ける可能性がある。研究結果は、「助産師が責任を持ち、妊娠から分娩まで助産師が深く関与した場合は、当該妊婦の満足度が高いこと」を指摘しており、全妊娠および分娩の約3割は全妊娠期全期間を通じて数回の医師のみ(助産ケアを中心として妊娠および分娩管理を行う)で良好な妊娠予後が得られることを示唆している。(産婦人科診療ガイドライン2017)

「助産師外来」 緊急時の対応が可能な医療機関において、助産師が医師と役割分担をし、妊産婦とその家族の意向を尊重しながら、健康診査や保健指導を行うこと。

「院内助産」 緊急時の対応が可能な医療機関において、助産師が妊産婦とその家族の意向を尊重しながら、妊娠から産褥1か月頃まで、正常・異常の判断を行い、助産ケアを提供する体制。
(※医療法における「助産所」には該当しない)

■ 院内助産を開設後、運営を維持・継続する上で重要と思われる項目 (複数回答)



■ 院内助産・助産師外来の開設数及び導入率

		開設数		導入率
		箇所数	分娩取扱箇所数	
院内助産	病院	160	1,031	16%
	診療所	54	1,242	4%
助産師外来	病院	563	1,031	55%
	診療所	438	1,242	35%

出典：医療施設調査 (平成29年)

助産師出向の検討、計画立案、運営、評価等

多くの助産師が就業している高度医療機関においては、ハイリスク妊産婦の増加により、正常分娩の介助経験を積み重ねることが困難

出向により、分娩経験等を得られ助産実践能力が向上

- 協議会[※]の設置
 - 実践能力の高い助産師を育成
- ※既存の看護職員確保、助産師出向支援等の協議会でも可(都道府県看護協会、助産師会、都道府県医師会・産婦人科医会、都道府県行政担当者、学識経験者等)



助産所と嘱託医療機関等の連携に係る支援

助産所において、嘱託医療機関等を円滑に確保できるよう支援

- 連携医療機関確保のための
 - ・ 支援・調整
 - ・ 相談窓口の設置
 - ・ 調査・ヒアリング
 - ・ 研修会・カンファレンス 等
- (都道府県助産師会等)



院内助産・助産師外来の実際及び効果についての理解促進

院内助産・助産師外来を実施するためには、産科医師等の理解・協力が必要

産科医師等を対象に、院内助産等の実施までのプロセスや効果等についての理解促進を目的とした取組を実施

- 院内助産等の実施に関する講演・セミナー・シンポジウム等
- 院内助産・助産師外来ガイドライン改訂版(H30)の周知

3年間の

1. 助産師出向の状況

	1例目	2例目	3例目	4例目	5例目
出向元	徳島大学病院	徳島大学病院	徳島大学病院	徳島大学病院	徳島大学病院
	↓	↓	↓	↓	↓
出向先	つるぎ町立半田病院			徳島県鳴門病院	徳島県立中央病院
出向期間	3ヶ月	6ヶ月	4ヶ月	3ヶ月	3ヶ月
出向日	2019年12月16日 ～ 2020年3月2日	2020年3月1日 ～ 2020年8月31日	2020年11月1日 ～ 2021年3月31日	2021年10月1日 ～ 2021年12月31日 ※日勤のみ	2022年2月1日 ～ 2022年4月30日 予定
出向カンファレンスの回数	2回	6回	4回	3回	
分娩介助数	14件	35件	33件	5件(うち 無痛3)	

2年間の

2. 助産所と医療機関等の連携支援

2020年度 【連携ワーキングを開催】

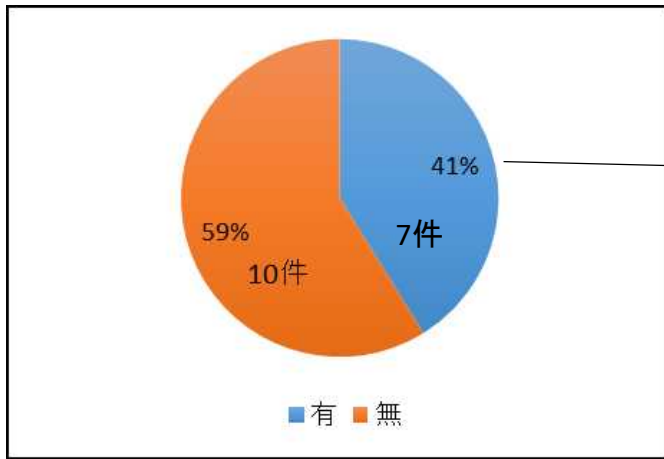
- ①助産所への調査：医療機関と連携したい症状等の洗い出し
- ②助産所が連携したい医療機関（産婦人科・乳腺外科・小児科）の抽出
- ③助産所と連携してくれる医療機関を調査 →19の医療機関一覧作成
- ④18の開業助産所の業務内容一覧作成
- ⑤保健所・市町村保健センター一覧作成
- ⑥助産所と連携医療機関へそれぞれの一覧表を配布

⑦活用状況を調査（2021年12月）

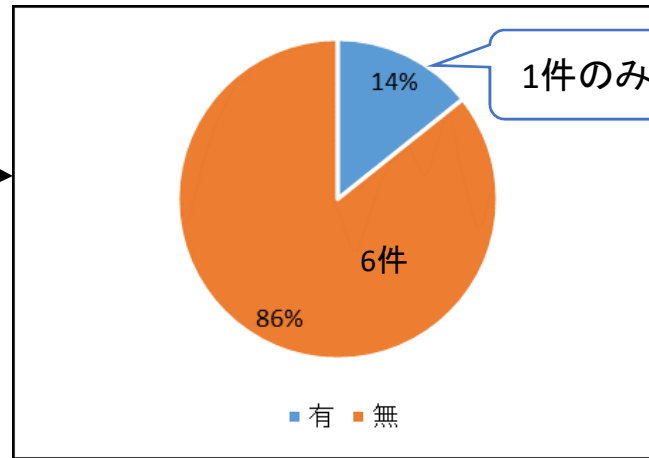
産後うつ等軽微なメンタルを連携する一覧の作成は今後の課題

連携先一覧の活用状況(助産所)

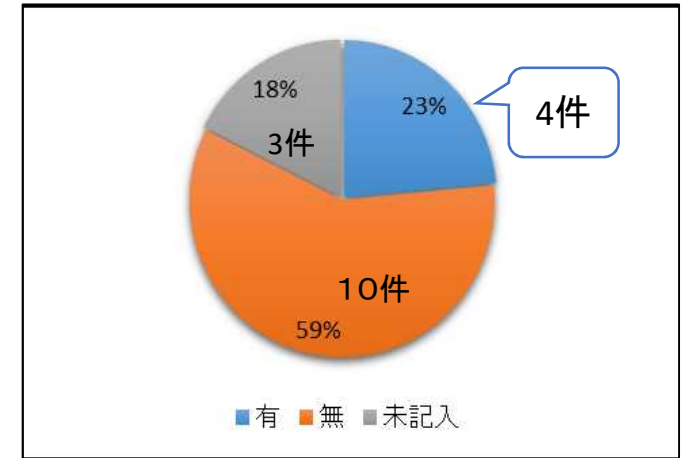
医療機関に紹介した助産所



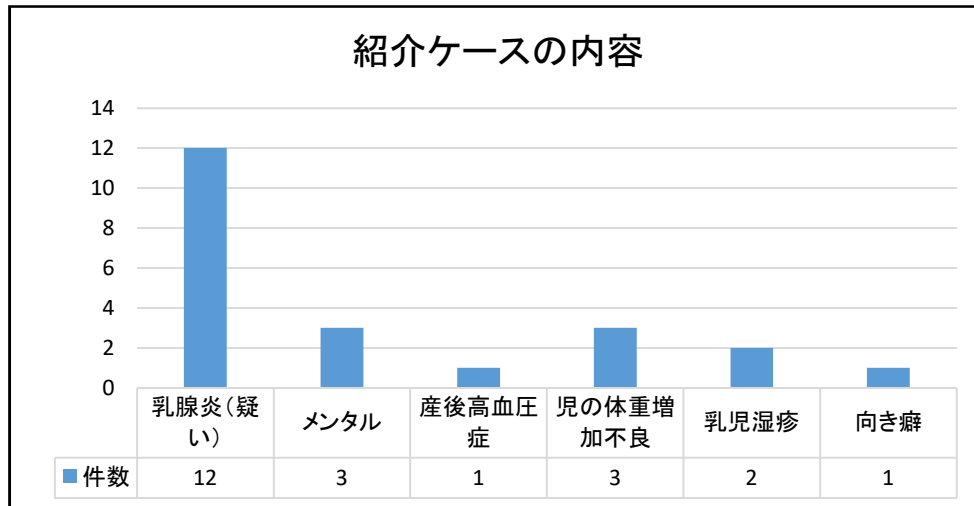
連絡先一覧の活用状況



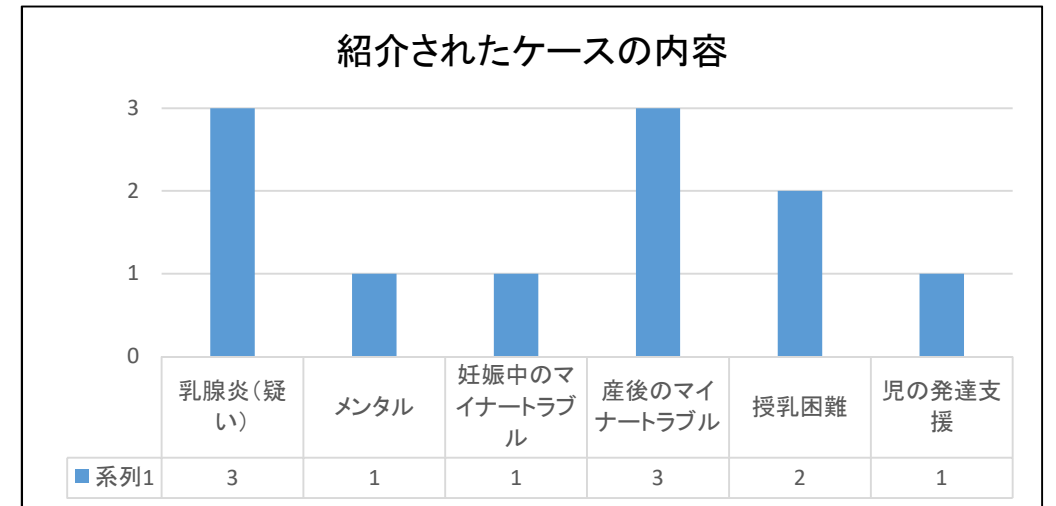
医療機関から紹介があった助産所



紹介ケースの内容



紹介されたケースの内容



連携機関への研修会開催

- ①2021年10月29日(金)・30日(土):事前ビデオ学習受講
- ②2021年12月28日(日):ZOOMによる質問回答講習会

参加者:助産師65名・看護師9名・保健師15名・医師2名(計91名)

育児支援のための乳児発達の見方と介入方法
 一様子見て終わらない支援のために一

【研修目的】
 育児支援の場で、ちょっと気になる乳児に出会うことは少なくない。保護者からは、よく泣く、寝ない、戻り泣きが多いなど、様々な相談がある。乳児の発達とかわりを知り、保護者に提案できる対応の幅が広がる事で、支援者も自信をもって育児支援に対応できると思われる。

乳児期前半(生後6ヶ月頃までの赤ちゃん)の発達と姿勢発達がその後には及ぼす影響について知り、育児支援の場で活用出来る知識と発達に有効なかわりについて学ぶ。

【研修日時】令和3年11月28日(日)10時~11時30分(90分)

【研修方法】ZOOM

【講師】 家森百合子先生(医療法人家森クリニック理事長)
 進行役:山田神一智先生(山田こどもクリニック院長)

【対象者】 徳島県内在住、もしくは徳島県内施設勤務の乳児に係る医師、助産師、保健師、看護師で事前に学習動画を視聴した方

【申込方法】 看護協会ホームページもしくはQRコード

【申込締切】 令和3年10月15日(金)

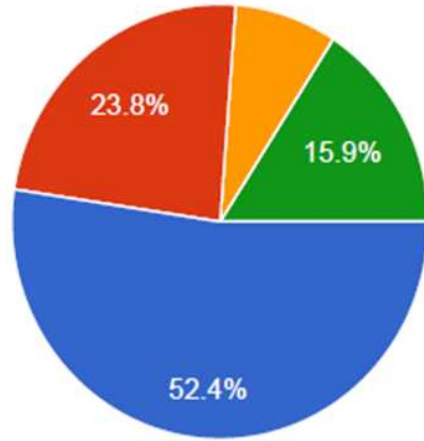
【研修費用】 無料
 ※事前の学習動画(姿勢発達の全主催)の視聴は有料(視聴代として3,000円)です

【事前学習動画の視聴について】
 ※動画配信日=10月29日(金)+30日(土)
 ※本研修に申し込んで入金が確認された方に、動画視聴のURL・ID・パスワード、配信時間などをお知らせします。



【共催】公益社団法人徳島県看護協会 一般社団法人徳島県助産師会

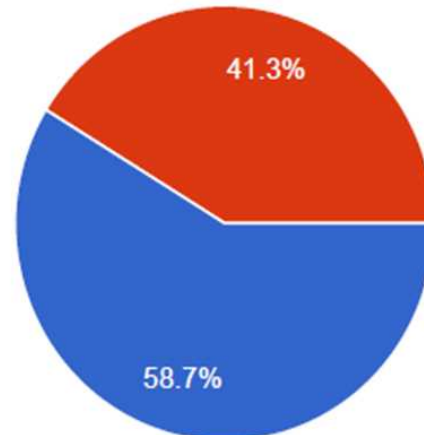
結果 回収率71.6%



- 助産師 (助産師会会員)
- 助産師 (助産師会非会員)
- 看護師
- 保健師
- 医師
- 保育士



ZOOMによる研修風景



- a. 大変満足
- b. やや満足
- c. ふつう
- d. あまり満足していない
- e. 不満

2年間の

3. 院内助産の支援について

★実態調査 2020年6月1日～22日（回収率100%）

県内の分娩取り扱い施設8病院に対して院内助産システムの導入の有無について調査を実施した。

結果：院内助産は3病院が、助産師外来は8病院が実施していた。①徳島大学病院（2010年10月から）

②県立中央病院（2016年4月から） ③阿南医療センター（2020年5月から）

※②③は人員の関係で現在は休止中

★2020年度 助産師職能集会・院内助産開設の取り組みに関する交流会 令和3年1月23日（土）午前9時30分～12時

★院内助産交流実地研修

2020年度		
徳島大学病院	2020年10月 29日・30日 ←	阿南医療センター
徳島大学病院	2021年1月19日 →	阿南医療センター
2021年度		
徳島大学病院	2021年11月 18日・19日 ←	徳島赤十字病院

プログラム

1. 開会
2. 助産師職能委員会報告
「助産師職能委員会活動報告」
徳島県看護協会助産師職能委員長 上田美香
3. 助産師活用推進事業報告
「助産師活用推進事業について」
徳島県看護協会助産師活用推進事業アドバイザー
鈴記洋子
4. 院内助産開設病院からの報告
徳島大学病院 院内助産「ひなた」 大西真理子
徳島県立中央病院 院内助産「すだち」 境 貴世
JA阿南医療センター 院内助産「まんまる」 小川貴久美
5. ディスカッション
6. 閉会

令和3年度 助産師職能集会・助産師活用推進事業報告会

日時：令和4年1月29日（土）午前9時30分～12時

プログラム

1. 開会
2. 助産師職能委員会報告
「助産師職能委員会活動報告」
徳島県看護協会助産師職能委員長 森内 洋美
3. 助産師活用推進事業報告
「助産師活用推進事業3年間の取り組みについて
～助産師出向事業と院内助産の支援～」
徳島県看護協会助産師活用推進事業アドバイザー
鈴記 洋子
4. 助産師出向に関して：助産師出向の効果と課題
徳島大学病院 坪内 裕子
つるぎ町立半田病院 知野 広美
5. 院内助産師に関する報告
院内助産を継続するために
徳島大学病院 大西 真理子
院内助産に向けての学び
徳島赤十字病院 美馬 良美
6. ティスカッション
テーマ1 それぞれの病院が出向事業に関係していくために何が出来るか
テーマ2 院内助産に向けて、私たちにできること
7. 閉会